

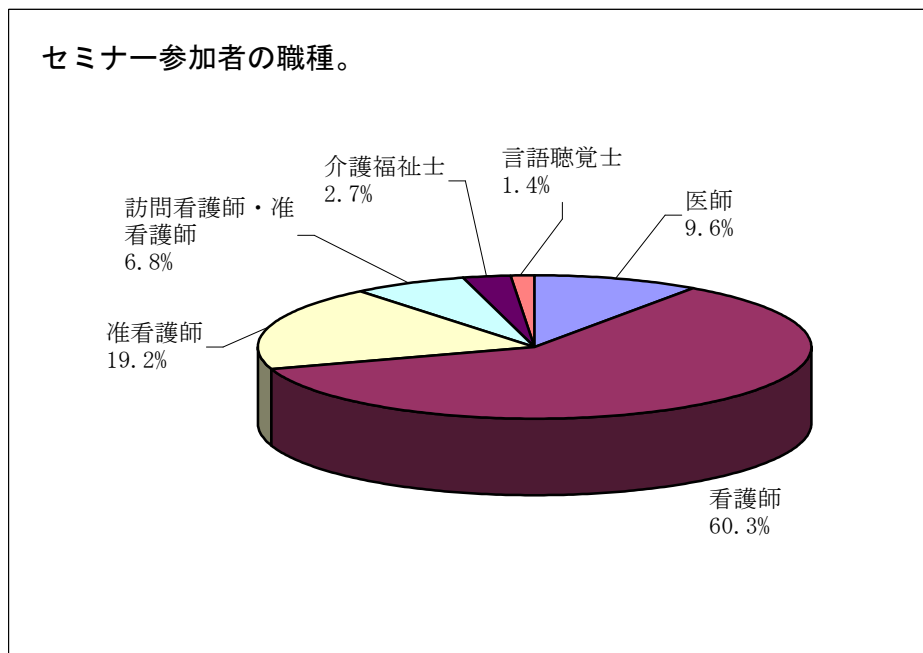
第1回栃木県PDNセミナー(平成18年10月)

アンケート集計結果

回収サンプル数:73

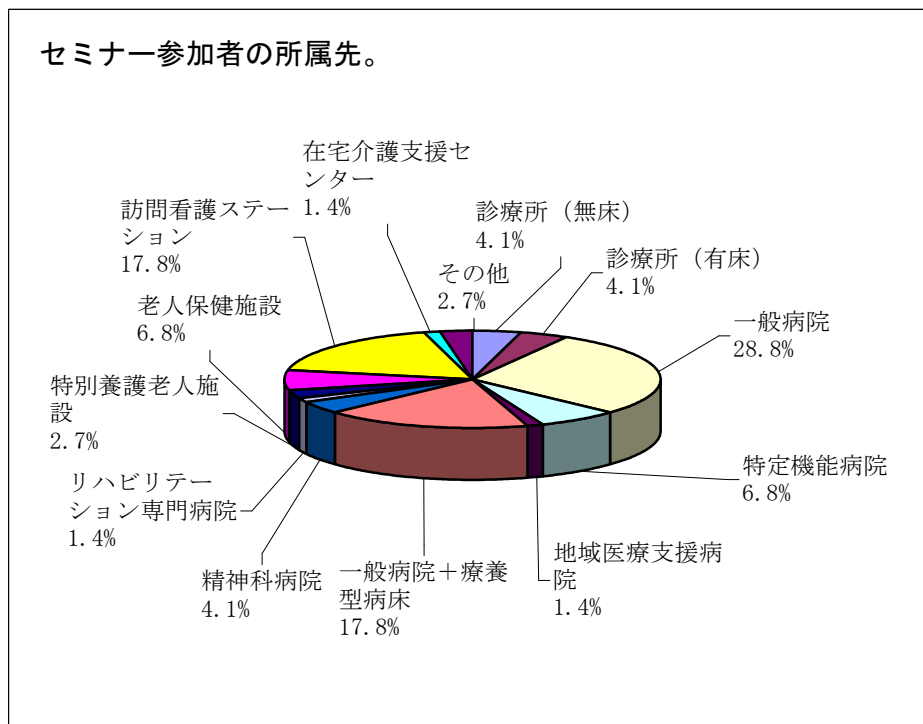
I. セミナー参加者のプロフィール。

□ 職種



N=73

□ 所属先



N=73

□ 所属先の所在地

N 100%=	宇都宮市	下野市	小山市	栃木市	佐野市	足利市	鹿沼市
73	9 12.3	2 2.7	12 16.4	1 1.4	14 19.2	2 2.7	1 1.4

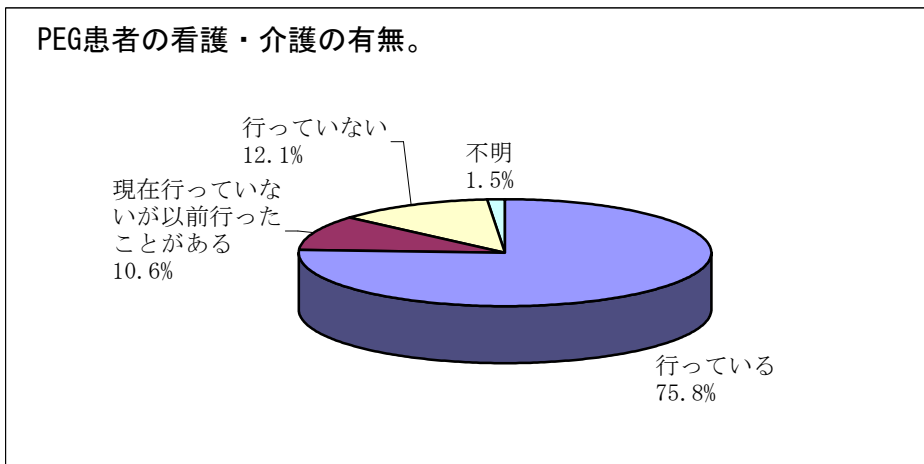
(つづき)

N 100%=	矢板市	那須塩原市	河内郡	塩谷郡	芳賀郡	下都賀郡	茨城・古河市
73	2 2.7	2 2.7	8 11.0	1 1.4	3 4.1	4 5.5	1 1.4

(つづき)

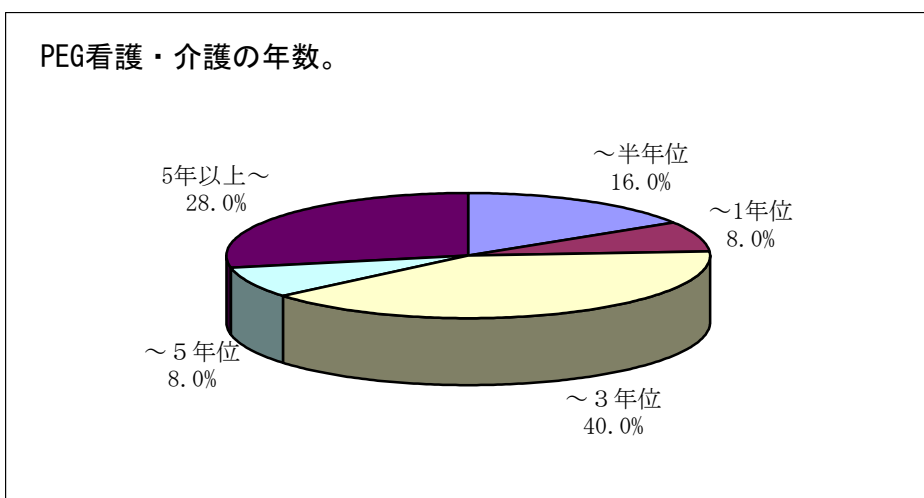
N 100%=	茨城・筑西市	不明
73	1 1.4	10 13.7

□ PEG患者の看護・介護の有無。(医師以外の参加者について)



N=66

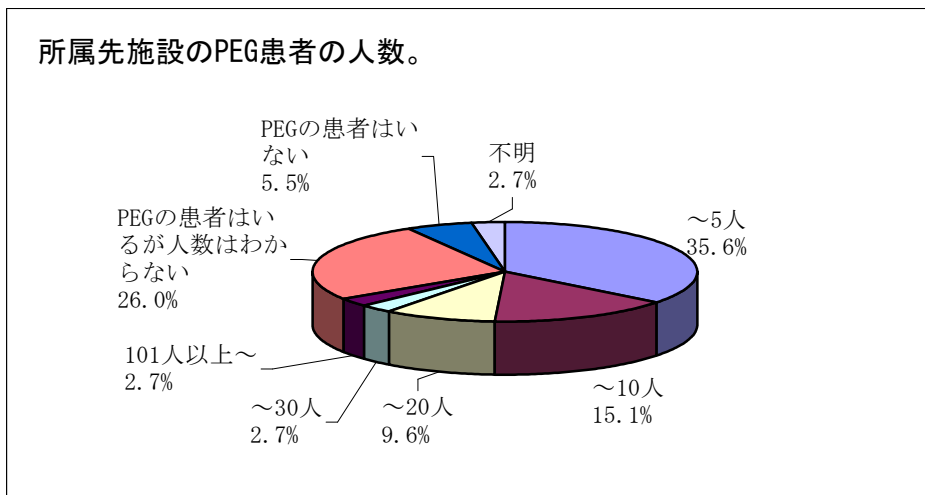
□ PEG看護・介護の年数。(看護・介護を行っている人について)



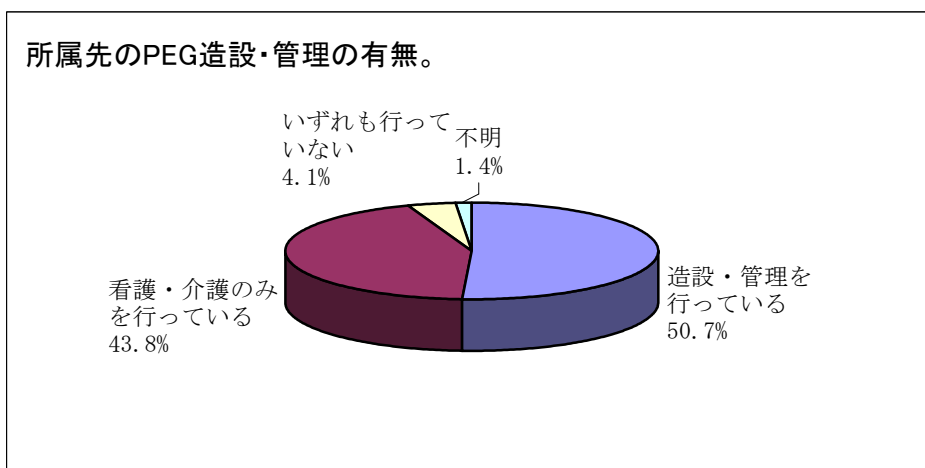
平均：3.20年 N=50

II. 所属先施設のPEGの現状。

□ 所属先施設のPEG患者の人数。

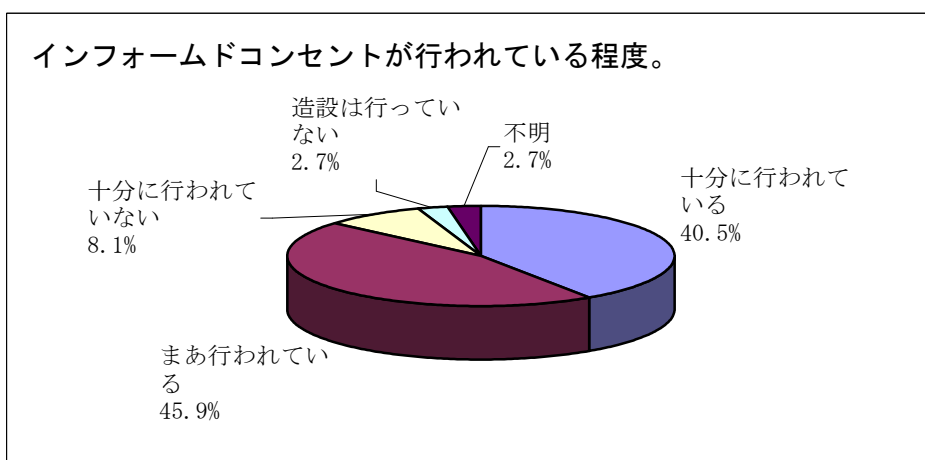


□ 所属先施設のPEG造設・管理の有無。



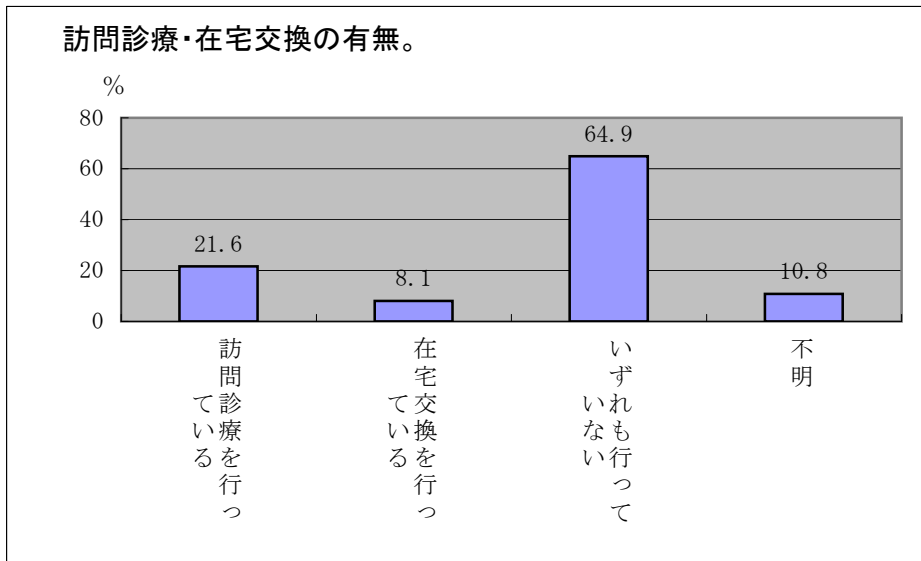
□ PEG造設時のインフォームドコンセントの程度。

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



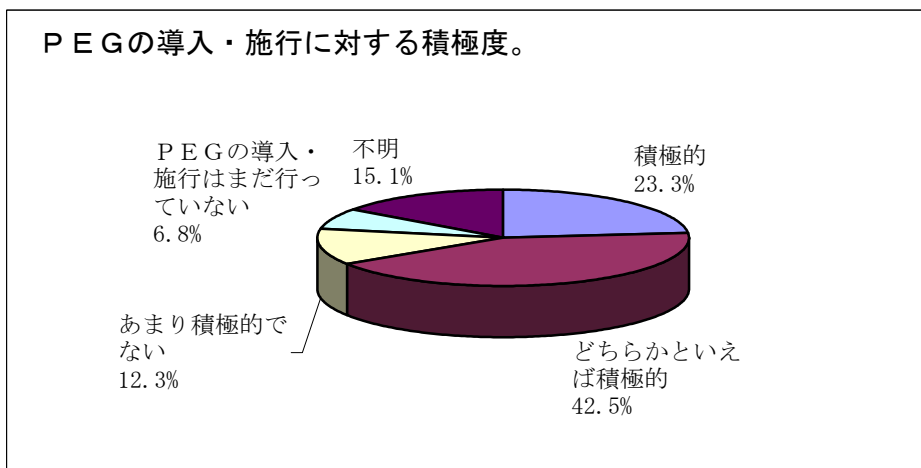
□ 所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無。

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



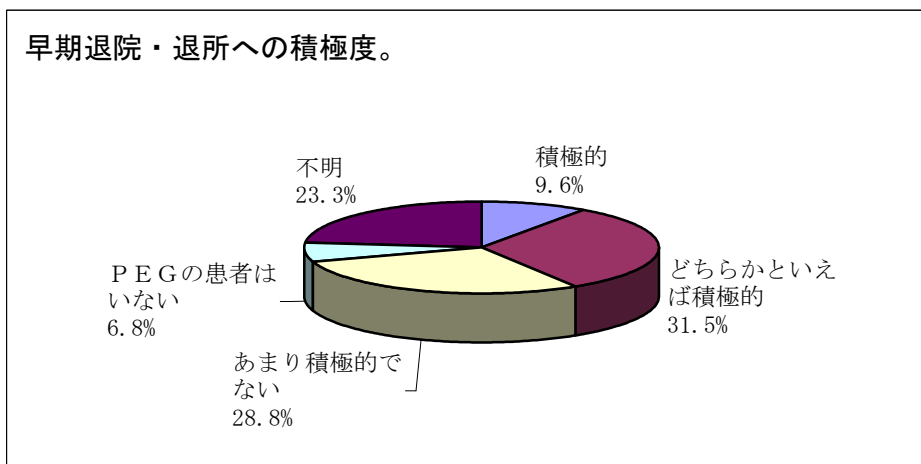
N=37

□ 所属先施設のPEG導入・施行への積極度。



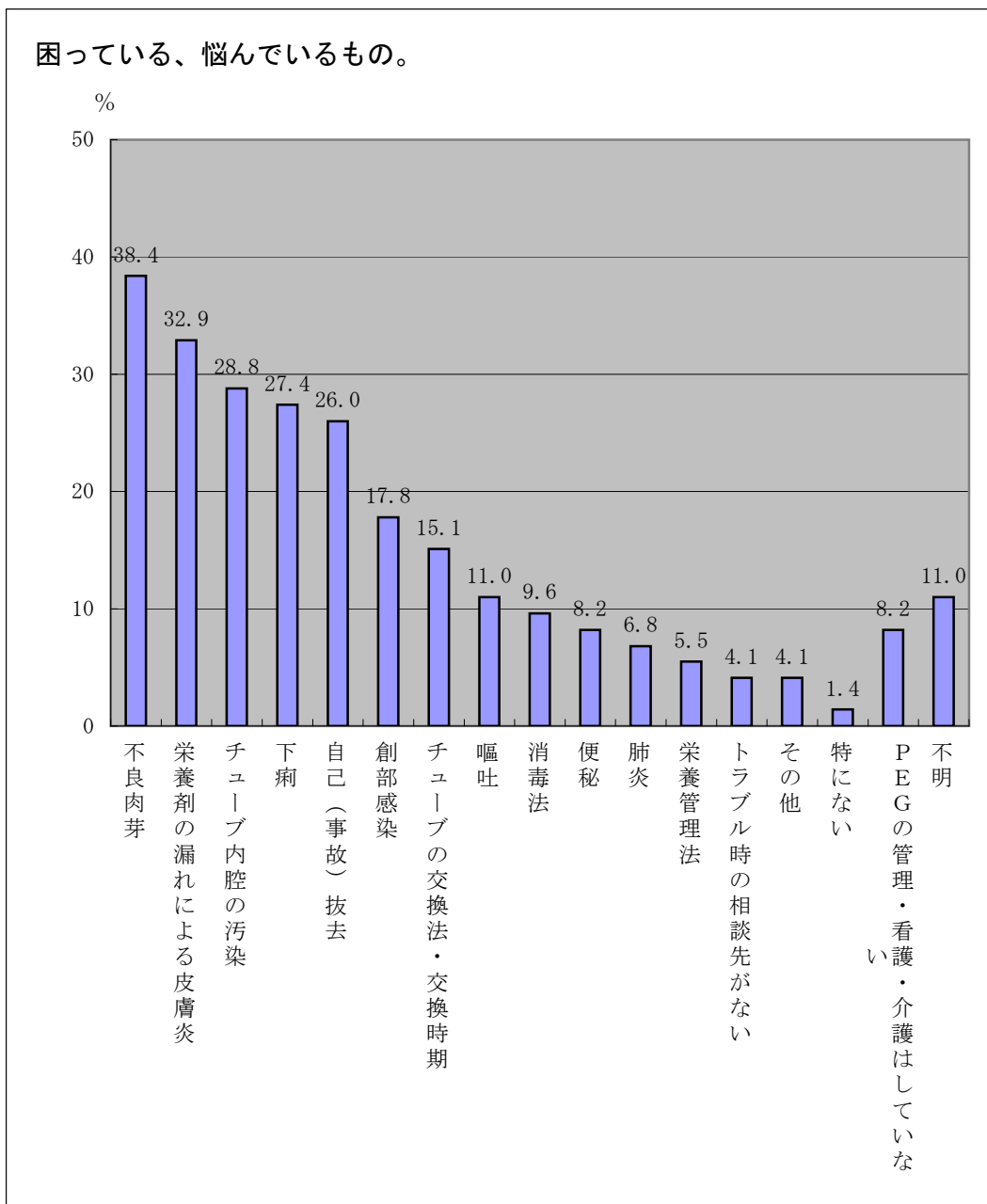
N=73

□ 所属先施設の早期退院・退所への積極度。



N=73

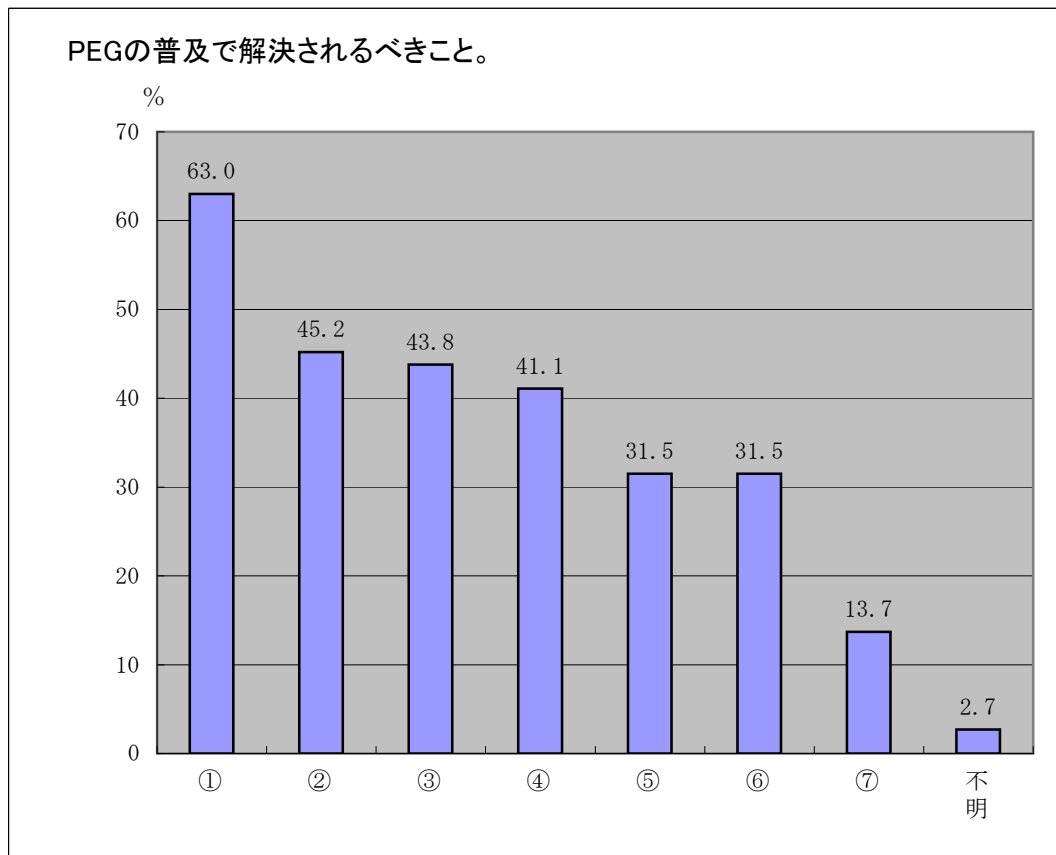
Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの。(複数回答)



N=73

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

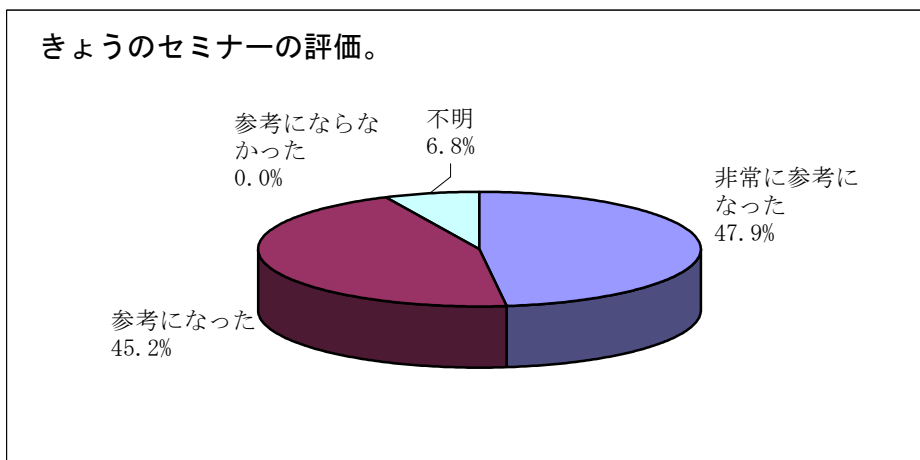


N=73

- | | |
|---|---------|
| ① PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 63.0% |
| ② 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実 | 45.2% |
| ③ PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 43.8% |
| ④ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 41.1% |
| ⑤ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 31.5% |
| ⑥ 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること。 | 31.5% |
| ⑦ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 13.7% |
| | 不明 2.7% |

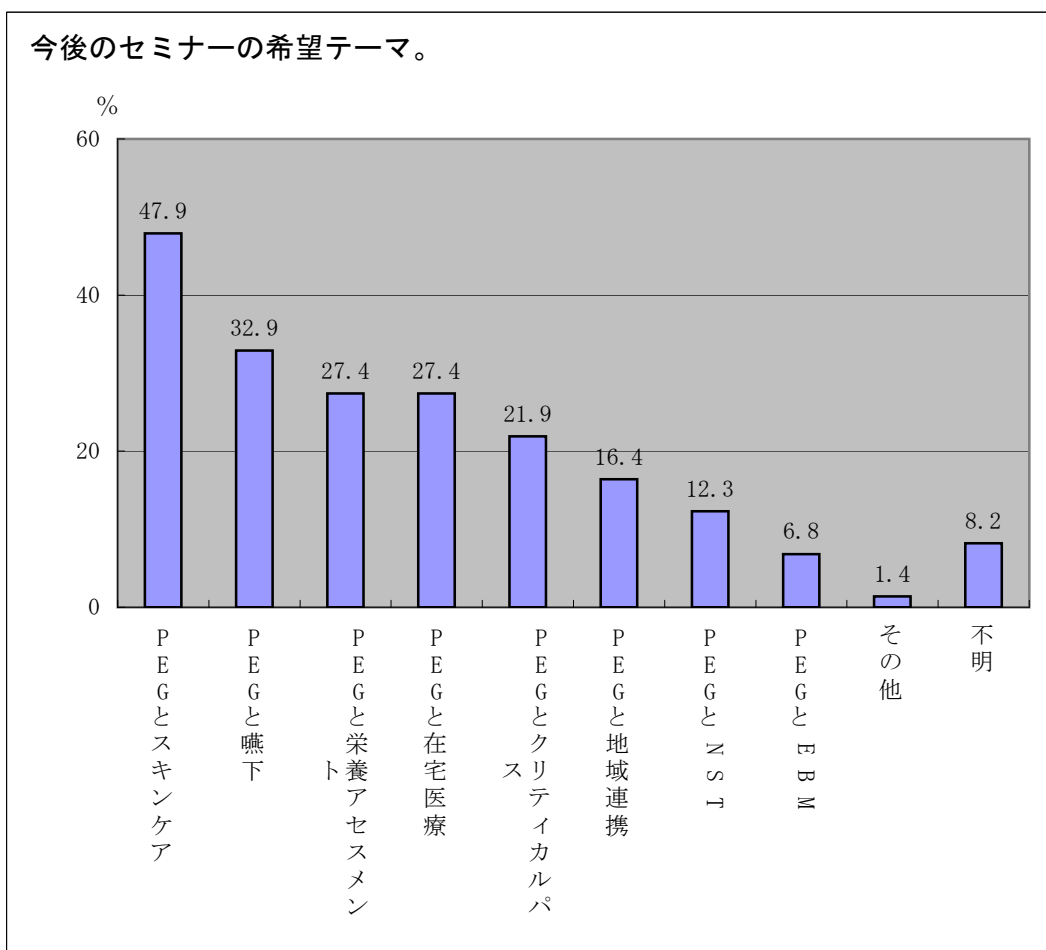
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ。

□ 今回のセミナー評価。



N=73

□ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=73

VI. 自由回答意見。

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください？

- 栃木県にも、群馬県のような大規模なNSTやPEG研究会が必要ではないかと思う。（医師、一般病院）
- 低蛋白が改善しない患者がいる。補助食品オルゴ糖などの併用食品などを教えてほしい。（看護師、一般診療所<有床>）
- 栄養内容についてとか、アンケートをとってテーマを絞った研修も必要ではないか。（医師、老人保健施設）
- ラコールを栄養補助で口から飲ませたい患者がいたが、自費で買ってもらうようにと開業医が処方箋を出してくれず、飲ませることができなかった。処方箋がないとラコールは出してくれないと話しても理解してくれなかった。（看護師、訪問看護ステーション）
- たいへん勉強になった。今後も参加したいと思う。（看護師、特定機能病院）
- 県北地域でもセミナーを開催してほしい。（看護師、精神科病院）
- 毎年、このようなセミナーを開催してほしい。（准看護師、一般病院）
- 少し難しかったが、よく判った。（介護福祉士、老人保健施設）
- これからの看護について参考になった。（看護師、一般病院）
- 次回からはテーブルのある会場でやってほしい。（看護師、一般病院）
- パワーポイントが見ずらかった。参考資料も添付してほしかった。テーブルのない会場は信じられない。（看護師、特定機能病院）

第1回栃木県PDNセミナー

回収サンプル数:73サンプル

Q1.あなたの所属先は？(ひとつだけ)

1. 一般診療所(無床)4.1% 2. 一般診療所(有床)4.1% 3. 一般病院28.8% 4. 特定機能病院6.8% 5. 地域医療支援病院1.4% 6. 一般病院+療養型病床17.8% 7. 療養型病床0.0% 8. 脳神経外科病院0.0% 9. 精神科病院4.1% 10. リハビリテーション専門病院1.4% 11. 特別養護老人施設2.7% 12. 老人保健施設6.8% 13. 有料老人施設0.0% 14. 障害者施設0.0% 15. 訪問看護ステーション17.8% 16. 居宅支援事業所0.0% 17. 在宅介護支援センター1.4% 18. その他2.7% 不明0.0%

Q2.あなたは次のどれにあたりますか？(ひとつだけ)

1. 医師9.6% 2. 看護師60.3% 3. 准看護師19.2% 4. 訪問看護師・准看護師6.8% 5. 介護福祉士2.7% 6. 作業療法士0.0% 7. 理学療法士0.0% 8. 社会福祉士0.0% 9. 臨床心理士0.0% 10. 言語聴覚士1.4% 11. 介護支援専門員(ケアマネジャー)0.0% 12. 訪問介護員(ホームヘルパー)0.0% 13. 薬剤師0.0% 14. 栄養士0.0% 15. その他0.0% 不明0.0%

[医師以外の参加者に対して N=66]

Q3.あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか？(ひとつだけ)

1. 行っている75.8% 2. 現在行っていないが以前行ったことがある10.6% 3. 行っていない12.1% 不明1.5%

↓

N=50

Q4.PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？(ひとつだけ)

1. ~半年位16.0% 2. ~1年位8.0% 3. ~3年位40.0% 4. ~5年位8.0% 5. 5年以上~28.0% 不明0.0%
平均:3.20年

[医師に対して N=7 結果の数字は実数]

Q5.先生のご担当診療科目は？(いくつでも)

1. 外科3 2. 内科3 3. 内視鏡科1 4. その他1

Q6.先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか？(ひとつだけ)

1. ~2,3年位前2 2. ~5年位前0 3. ~10年位前0 4. 10年以上前~1 5. PEGの施行は行っていない4

Q7.PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか？(いくつでも)

1. 脳血管障害3 2. 認知症1 3. 神経疾患1 4. 呼吸器疾患2 5. 外傷1 6. 癌1 7. その他1 8. PEGの施行は行っていない4

Q8.腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？(ひとつだけ)

1. ある0 2. ない3 3. PEGの施行は行っていない4

Q9.貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか？(ひとつだけ)

1. ~10件以下0 2. ~20件1 3. ~30件1 4. ~40件0 5. ~50件2 6. 51件以上~0 7. PEGの施行は行っていない3 不明0

[以下、全員に対して N=73]

Q10.訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか？(ひとつだけ)

1. ~5人35.6% 2. ~10人15.1% 3. ~20人9.6% 4. ~30人2.7% 5. ~50人0.0% 6. ~100人0.0% 7. 101人以上~2.7% 8. PEGの患者様はいるが人数はわからない26.0% 9. PEGの患者様はいない5.5% 不明2.7%
平均:11.30人

Q11.御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか？(ひとつだけ)

1. 造設・管理を行っている50.7% 2. 看護・介護のみを行っている43.8% 3. いずれも行っていない4.1% 不明1.4%

↓

N=37

Q12.御施設では、PEGの造設にあたって、患者様ご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？(ひとつだけ)

1. 十分に行われている40.5% 2. まあ行われている45.9% 3. 十分に行われていない8.1% 4. PEGの造設は行っていない2.7% 不明2.7%

Q13.御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

1. 訪問診療を行っている21.6% 2. 在宅交換を行っている8.1% 3. いずれも行っていない64.9% 不明10.8%

N=73

Q14.御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

1. 積極的23.3% 2. どちらかといえば積極的42.5% 3. あまり積極的でない12.3% 4. PEGの導入・施行はまだ行っていない6.8% 不明15.1%

Q15.御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

1. 積極的9.6% 2. どちらかといえば積極的31.5% 3. あまり積極的でない28.8% 4. PEGの患者様はいない6.8% 不明23.3%

Q16.PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

1. 自己(事故)抜去26.0% 2. 肺炎6.8% 3. 嘔吐11.0% 4. 下痢27.4% 5. 便秘8.2% 6. 栄養剤の漏れによる皮膚炎32.9% 7. 不良肉芽38.4% 8. 創部感染17.8% 9. チューブの交換法・交換時期15.1% 10. チューブ内腔の汚染28.8% 11. 消毒法9.6% 12. 栄養管理法5.5% 13.トラブル時の相談先がない4.1% 14. その他4.1% 15. 特にない1.4% 16. PEGの管理・看護・介護はしていない8.2% 不明11.0%

Q17.PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください？(3つだけ)

- | | |
|---|---------|
| 1 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実。 | 45.2% |
| 2 PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 63.0% |
| 3 PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 43.8% |
| 4 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 31.5% |
| 5 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 41.1% |
| 6 PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 13.7% |
| 7 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみる | 31.5% |
| | 不明 2.7% |

Q18.きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

1. 非常に参考になった47.9% 2. 参考になった45.2% 3. 参考にならなかった0.0% 不明6.8%

Q19.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

1. PEGと嚥下32.9% 2. PEGと栄養アセスメント27.4% 3. PEGとスキンケア47.9% 4. PEGと在宅医療27.4% 5. PEGとNST12.3% 6. PEGとクリティカルパス21.9% 7. PEGと地域連携16.4% 8. PEGとEBM6.8% 9. その他1.4% 不明8.2%

Q20.所属先の所在地は？

県

市・郡

Q21.PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？